

包括連携協定高等教育機関 連携協議会 要旨

1 包括連携協定について

長野市は、市内の高等教育機関と包括連携協定を締結し、地域づくりや各種施策において、相互に協力しています。

各校とは、毎年、連携事項の円滑な推進を図るため、連携協議会を開催しており、今年度は次のとおり開催しました。

- ・信州大学 (H22. 11. 2 開催)
- ・清泉女学院大学及び清泉女学院短期大学 (H22. 11. 5 開催)
- ・長野県短期大学 (H22. 12. 21 開催)
- ・長野工業高等専門学校 (H23. 1. 17 開催)

2 懇談会の要旨

連携協議会において、まちづくりに関する発言が次のとおりありました。

(1) 北陸新幹線の延伸について

- ・北陸新幹線延伸による経済効果に期待している。長野市にとって大きなチャンスである。
- ・北陸方面の大学に長野県内の学生が流出しないよう、また、北陸方面の学生が入学したくなるような魅力ある大学づくりが必要である。
- ・北陸新幹線で金沢に行く観光客に長野に立ち寄ってもらう工夫も必要である。

(2) 産学行連携について

- ・大学や学生による調査とその活用をして欲しい。
- ・前期基本計画 重点施策「産業の集積と工業の活性化」の取組の継続が必要である。(ものづくり支援センターの活用、新産業の創出に向けた調査・研究、産業フェアの開催など)
- ・大学と行政による共同研究、合同調査の実施をしてはどうか。
- ・地域に開かれた大学づくり(図書館の開放、キャンパスの公開、イベントの開催など)を進める必要がある。
- ・高等教育機関の専門的知見をいかしてまちづくりの分析をするなど、高等教育機関と行政の連携を推進する必要がある。

(3) 長野県短期大学の4年制化について

- ・私立大学も共存できる長野県短期大学の4年制化(学部構成・定員など)が必要である。

(4) 外国人観光客について

- ・長野を訪れる外国人観光客の80%が日帰り、善光寺にも立ち寄っていない現状がある。外国人観光客への対応について検討が必要ではないか。
- ・外国人観光客への対応(外国語による案内の仕方など)について、検討が必要である。

(5) 若者の視点をいかしたまちづくりについて

- ・地元の若者のニーズに応えられるよう、若者の視点をいかす取組が必要である。
- ・オリンピック・パラリンピックを開催したNAGANOの強みをいかし、観光客に情報がいきわたるようにするなどの企画を若者から提案してもらってはどうか。